アセアン主要国のビジネス環境比較

アセアンの中でのインドネシアの立ち位置

自己紹介

1975/4～1981/6　ヤマハ㈱入社　インドネシア工場立上支援部門

1981/6～1987/3　インドネシア工場生産課長　電子鍵盤楽器の組立生産

1987/3～1995/7　インドネシア工場長　電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化

1995/8～2005/3　帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト

2005/3～現在　ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立

インドネシア語翻訳・通訳

ジェトロ専門家

OBACアドバイザー

AOTSインドネシア経営者研修コース講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会理事

インドネシアとの関わりも46年になりました。

これまでの支援企業数は約100社

コロナ以前は毎月インドネシアに出張

現在はインドネシアからのニュースや政府発表を毎日インドネシア語でチェックしています。

セミナー要旨

- 生産拠点あるいは販売拠点設立、そして輸出による海外事業の展開先候補として、中国、インド、米国、ブラジル、EU、そしてアセアンが挙げられます。
- まず、これらの地域別の市場規模を把握し、その中でのアセアンの立ち位置を確認します。
- その後で、アセアンにおけるインドネシアのビジネス展開先としての長短を最新のデータを基に定量的に検討します。

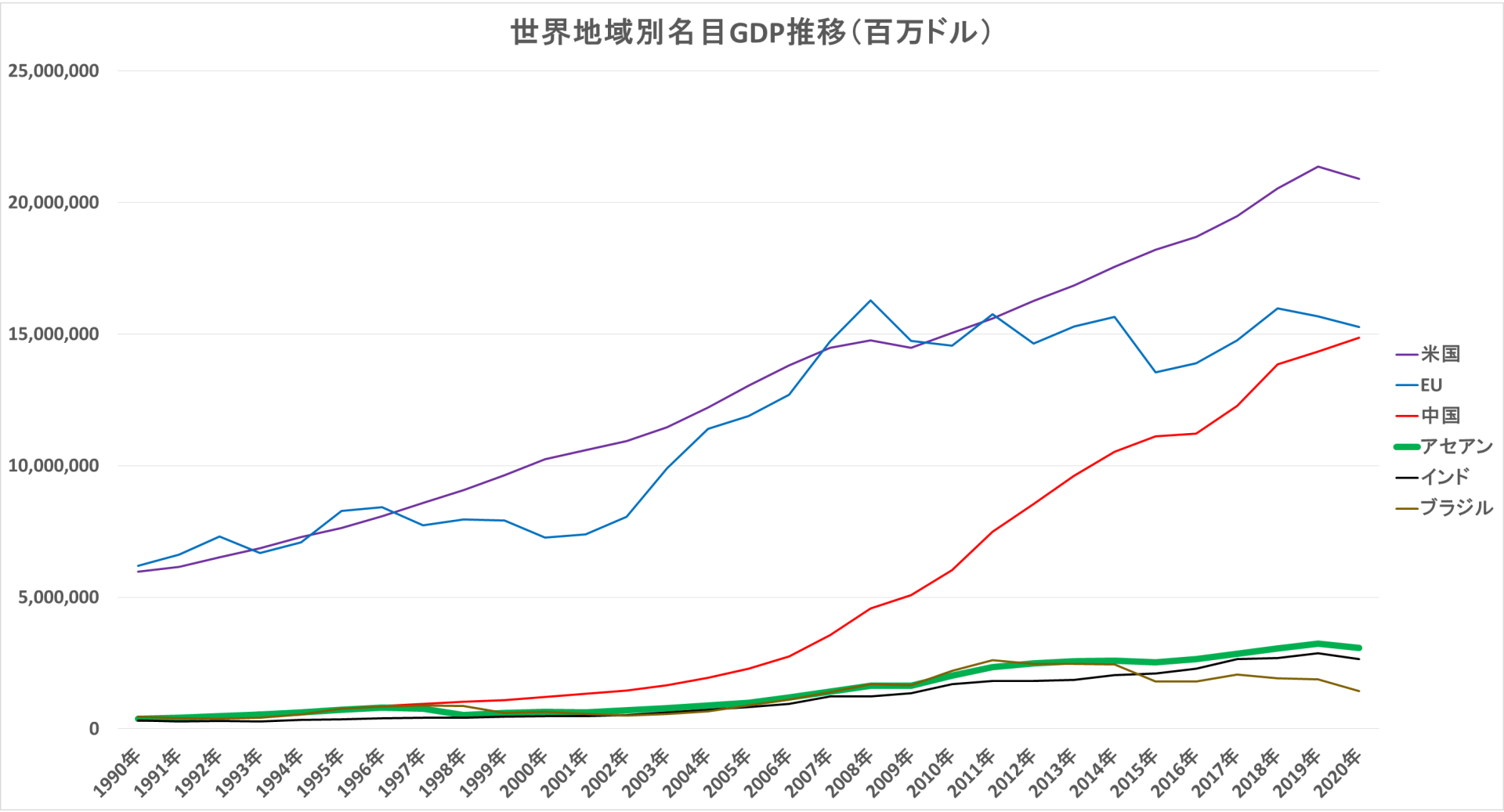
目次

I. 世界の中でのアセアンの立ち位置
   1. 名目GDP推移
   2. 名目GDP成長率推移
   3. 人口動態
II. アセアンの中でのインドネシアの立ち位置
   1. 国内市場
   2. 投資条件
   3. 操業コスト
   4. 税金制度
   5. 労働事情
   6. 人的資源
   7. サプライチェーン
   8. 産業インフラ
   9. 社会インフラ
   10. 環境規制
   11. カントリーリスク
   12. 日本人生活環境

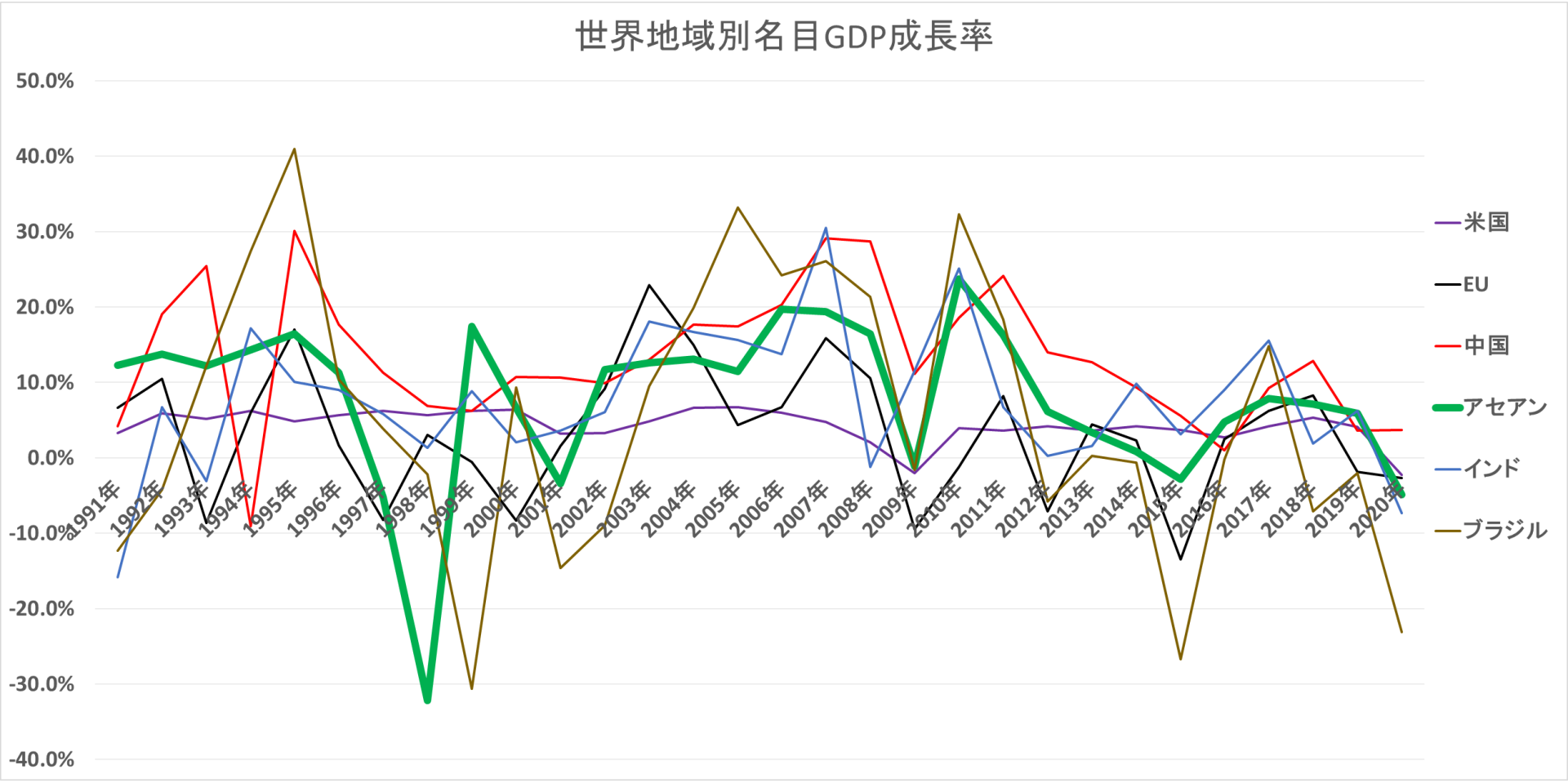
世界の中でのアセアンの立ち位置

1. 名目GDP推移
2. 名目GDP成長率推移
3. 人口動態

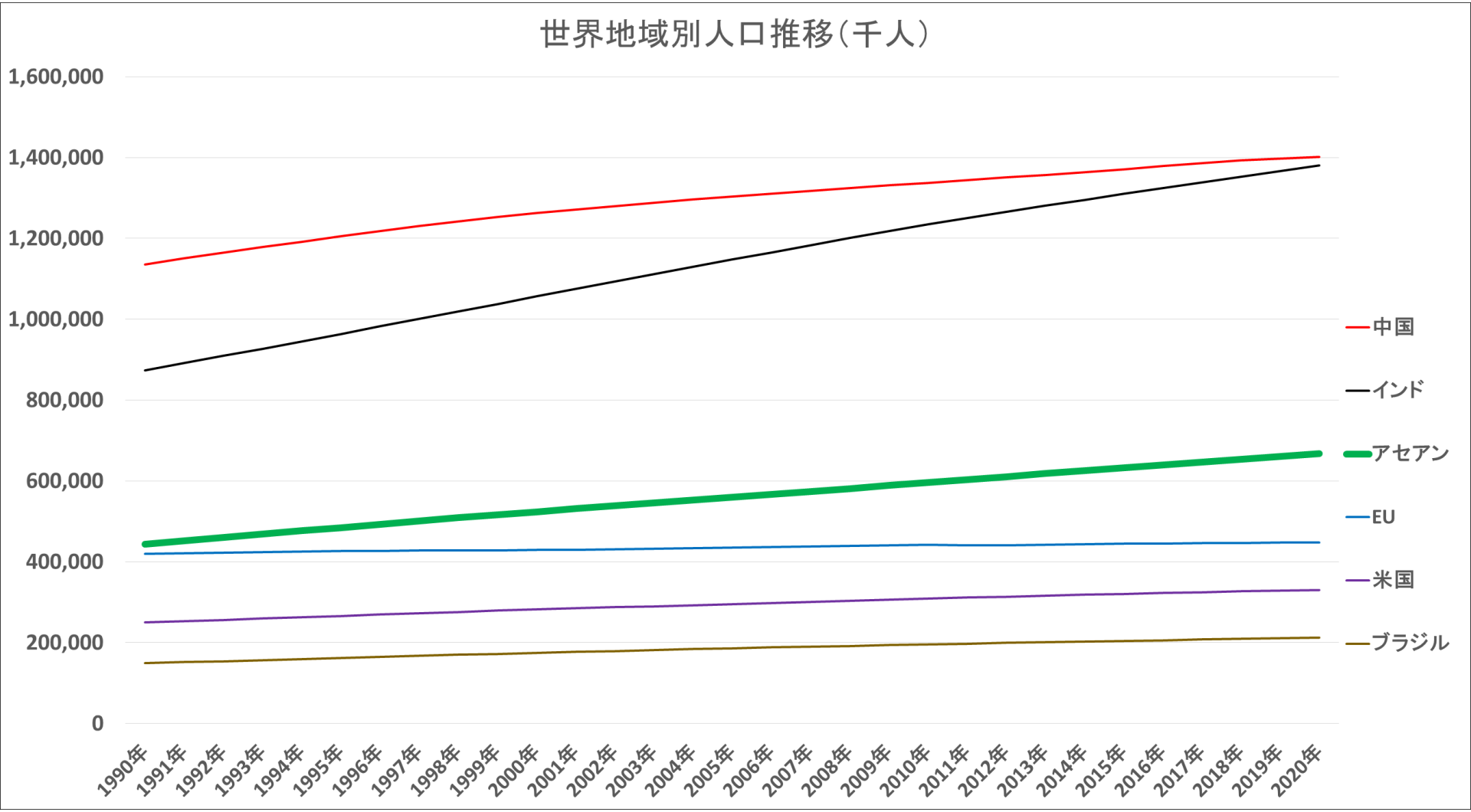
1. 名目GDP推移


世界地域別名目GDP推移（百万ドル）
25,000,000
20,000,000
15,000,000
10,000,000
5,000,000
0
1990年
1991年
1992年
1993年
1994年
1995年
1996年
1997年
1998年
1999年
2000年
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
米国
EU
中国
アセアン
インド
ブラジル

2. 名目GDP成長率推移



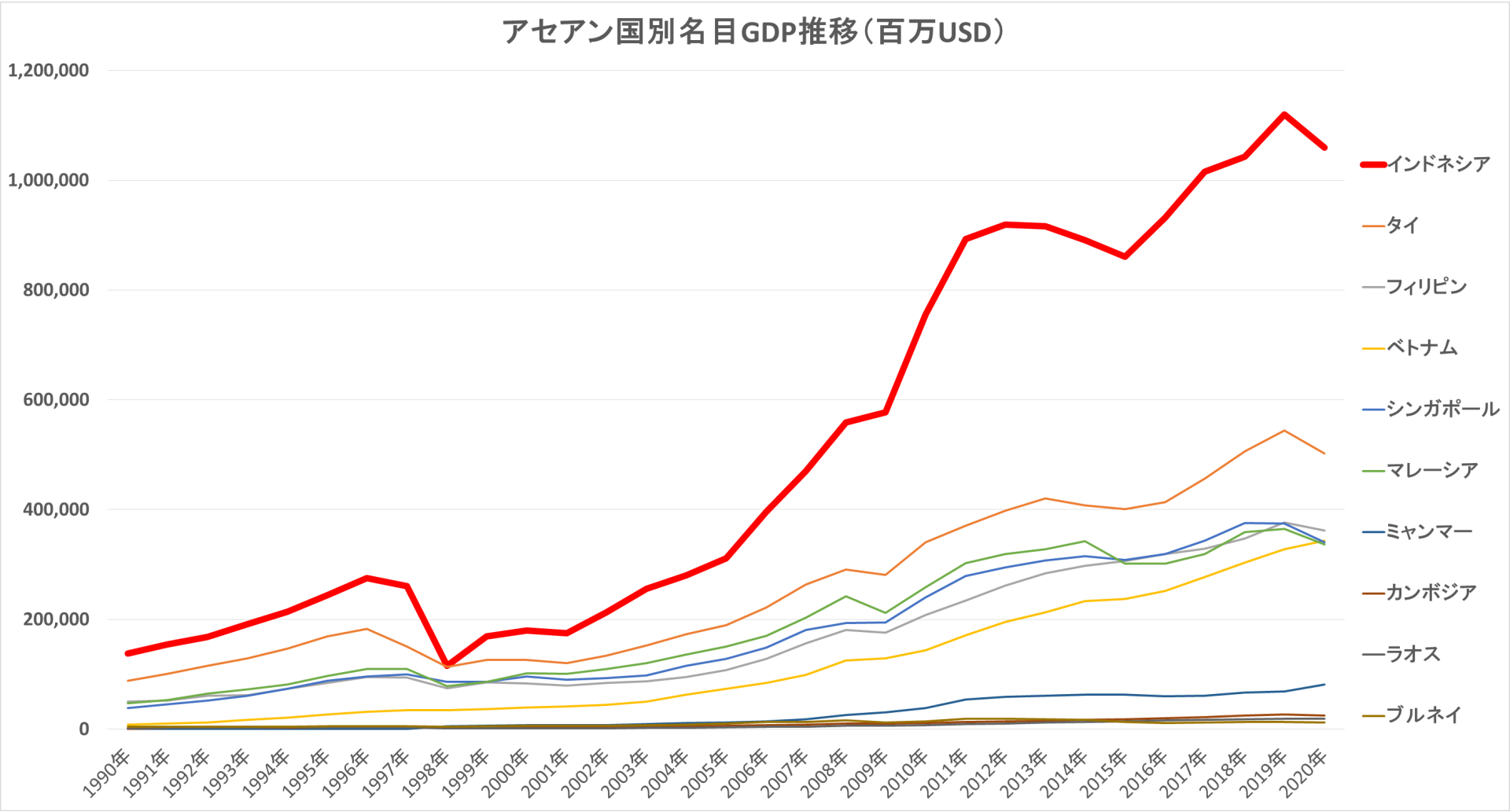
3. 人口動態


世界地域別人口推移(千人)
1,600,000
1,400,000
1,200,000
1,000,000
800,000
600,000
400,000
200,000
0
1990年
1991年
1992年
1993年
1994年
1995年
1996年
1997年
1998年
1999年
2000年
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
中国
インド
アセアン
EU
米国
ブラジル

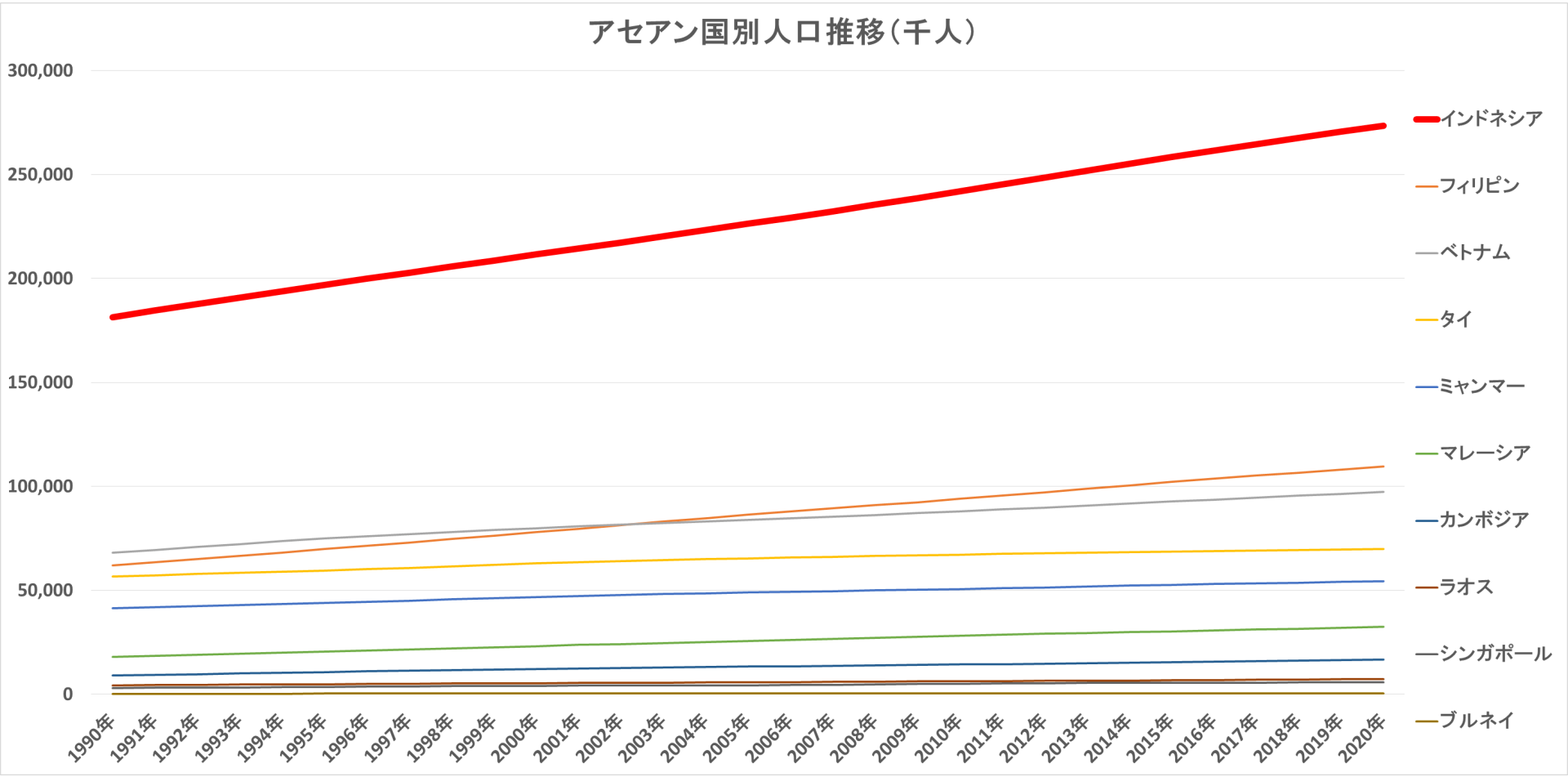
アセアンの中でのインドネシアの立ち位置

1. 国内市場
2. 投資条件
3. 操業コスト
4. 税金制度
5. 労働事情
6. 人的資源
7. サプライチェーン
8. 産業インフラ
9. 社会インフラ
10. 環境規制
11. カントリーリスク
12. 日本人生活環境

1. 国内市場-GDP


アセアン国別名目GDP推移（百万USD）
1,200,000
1,000,000
800,000
600,000
400,000
200,000
0
1990年
1991年
1992年
1993年
1994年
1995年
1996年
1997年
1998年
1999年
2000年
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
インドネシア
タイ
フィリピン
ベトナム
シンガポール
マレーシア
ミャンマー
カンボジア
ラオス
ブルネイ

1. 国内市場-人口動態


アセアン国別人口推移（千人）
300,000
250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0
1990年
1991年
1992年
1993年
1994年
1995年
1996年
1997年
1998年
1999年
2000年
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
インドネシア
フィリピン
ベトナム
タイ
ミャンマー
マレーシア
カンボジア
ラオス
シンガポール
ブルネイ

2. 投資条件

国名	最低投資額	円換算	外資規制
インドネシア	100億ルピア	77,000,000	一部地場産業を除き基本的に規制無し
マレーシア	250万リンギ	67,000,000	国家権益に関わる水、エネルギー・電力供給、放送、防衛、保安等に関し、外資出資比率の上限を30%または49%と規定
タイ	200万バーツ	6,800,000	3種類43業種への外国企業（外国資本50%以上）の参入を規制
フィリピン	20万ドル	22,000,000	ネガティブリストで外資出資比率を100%禁止、25%・30%・40%以下に制限、出資規制業種に該当しないと出資比率の上限無し
ベトナム	規制無し		投資禁止および経営禁止分野と条件付き経営投資分野を規定
シンガポール	規制無し		国家の安全保障にかかわる公益事業、メディア関係等の一定の分野を除いて制限無し
ミャンマー	規制無し		外資100%の外国企業およびミャンマー企業との外資合弁企業に一定分野において貿易業の参入を認める
カンボジア	規制無し		外国人投資についての制限は無し
ラオス	規制無し		6分野での事業禁止、14分野36業種についてラオス国籍者のみに保全される業種として外資参入が認められていない
ブルネイ	―	―	―

JETRO国別外資規制サイト参照

3. 操業コスト

国名	ワーカー（USD/月）	マネージャー（USD/月）	工業団地土地代金（USD/㎡）	レンタル工場賃貸料（USD/㎡月）	電力料金（USD/kWh月）	日本からのコンテナー代金（USD/40ft）
インドネシア	426	1,260	170～224	5～6	0.07	1,600
マレーシア	431	1,650	141	4.9	0.09	773
タイ	447	1,629	220	7.4	0.16	2,248
フィリピン	272	1,092	167～177	5.2	0.20	1,300
ベトナム	241	1,025	土地購入不可	0.18～0.35	0.07	1,100
シンガポール	1,907	4,306	141～628	0.73～2.96	0.15	680
ミャンマー	181	836	土地購入不可	0.13～0.14	0.14	1,200
カンボジア	222	1,003	土地購入不可	0.04～0.13	0.14	1,800
ラオス	210	771	土地購入不可	0.04	0.08	2,770
ブルネイ	—	—	—	—	—	—

JETRO2021年度国別（首都）投資コスト比較参照

4. 税金制度

国名	法人税率	利子送金課税	配当金課税	ロイヤリティー送金課税	所得税上限	付加価値税売上税等
インドネシア	20%	10%	10%/15%	10%	30%	10%
マレーシア	24%	10%	—	10%	30%	5%/10%
タイ	20%	10%	15%/20%	10%	35%	7%
フィリピン	25%	10%	10%/15%	10%/15%	35%	12%
ベトナム	20%	5%	10%	10%	35%	5%/10%
シンガポール	17%	—	—	—	22%	
ミャンマー	25%	15%			25%	5%
カンボジア	20%	14%	14%	14%	20%	10%
ラオス	20%	10%	10%	10%	25%	10%
ブルネイ	—	—	—	—	—	—

JETRO国別税制サイト参照

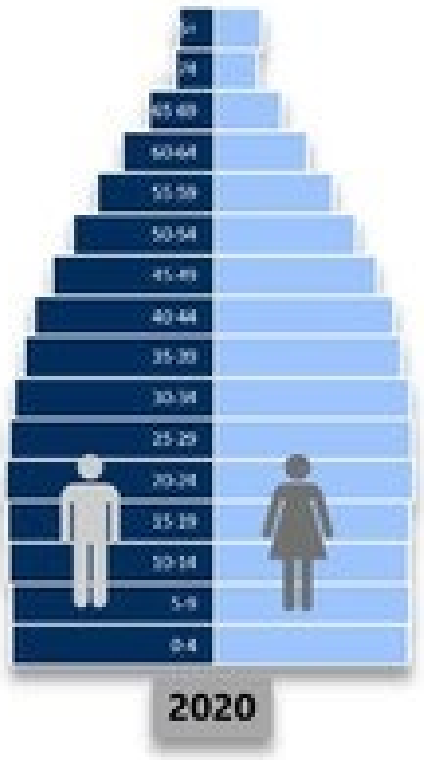
5. 労働事情

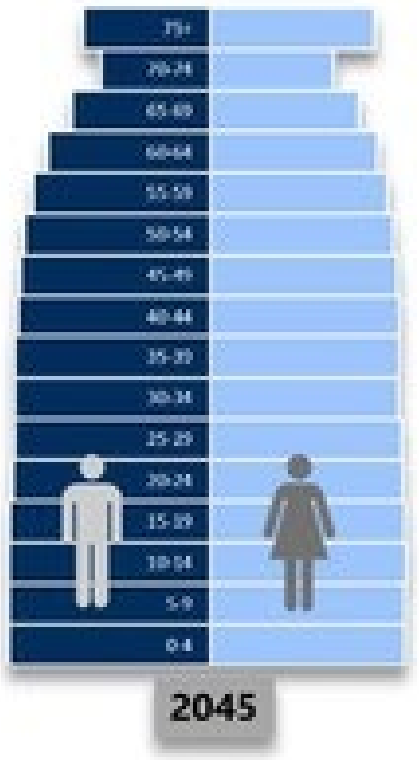
国名	雇用契約形態	労働組合	外国人労働者
インドネシア	正規、期間、派遣、請負	10名以上で複数の企業内組合	職種制限なし、ビザ更新最長4年
マレーシア	正規、パートタイム、その他	7名以上で一つだけの企業内組合	ビザ更新最長5年
タイ	雇用契約、委託契約	10名以上で複数の企業内組合	禁止職種あり、ビザ1年毎に更新
フィリピン	正規、プロジェクトベース、有期、試用期間	労働組合を組織することは労働者の権利	ビザ1年毎に更新
ベトナム	正規、研修、インターンシップ、試用、パートタイム、短期	労働者の選択により結成	ビザ最長10年
シンガポール	正規、パートタイム、契約	シンガポール全国労働組合会議のみ存在	ビザ最長3年
ミャンマー		30名以上で一つだけの企業内組合	ビザ1年毎に更新
カンボジア	無期、有期	10名以上で一つだけの企業内組合	ビザ1年毎に更新
ラオス	無期、有期最長3年	操業6カ月で単位労働組合設立義務	ビザ1年毎に更新
ブルネイ			

6. 人的資源

国名	総人口（千人）	労働人口（千人）	大学進学率（%）	失業率（%）
インドネシア	273,524	134,616	36	4.11
マレーシア	32,366	15,904	43	4.55
タイ	9,800	38,481	49	1.02
フィリピン	109,581	43,718	35	3.36
ベトナム	97,339	56,546	29	2.27
シンガポール	5,686	3,573	91	5.19
ミャンマー	54,410	22,953	19	1.79
カンボジア	16,719	9,164	15	0.31
ラオス	7,276	3,829	13	0.95
ブルネイ	437	217	32	8.37

6. 人的資源-人口ピラミッド推移





7. サプライチェーン

国名	海上輸送日数 日本～主要港	コンテナー料金 USD/40F, 2020年	輸入手続きコスト USD, 2019年	国際物流効率性 5点満点評価/世界順位
インドネシア	12	1,600	382.6	3.15/46
マレーシア	13	773	212.5	3.22/41
タイ	11～14	2,248	232.5	3.41/32
フィリピン	12～14	1,300	689.5	2.90/60
ベトナム	11～14	1,100	373.0	3.27/39
シンガポール	11～15	680	220.0	3.99/7
ミャンマー	17～32	1,200	456.7	2.29/137
カンボジア	10～14	1,800	240.0	2.57/98
ラオス		2,770	223.5	2.70/82
ブルネイ			395.0	2.70/80

8. 産業インフラ

国名	総電力発電量 TWh,2020年	道路総延長 Km/平方Km	水資源量 Km3/年	インターネット 100人当たり普及率(%)
インドネシア	275.19	0.265	2,018.7	53.7
マレーシア	159.59	0.440	580.0	89.6
タイ	176.44	0.352	438.6	77.8
フィリピン	101.75	0.726	479.0	46.9
ベトナム	234.49	0.624	884.1	70.3
シンガポール	53.07	4.888	0.6	92.0
ミャンマー		0.241	1,167.8	23.6
カンボジア		0.268	476.1	78.8
ラオス		0.171	333.5	25.5
ブルネイ		0.565	8.5	95.0

9. 社会インフラ

国名	水道普及率 %、2020年	電気普及率 %、2019年	インターネット 普及率%、2020年	携帯電話普及率 %、2020年
インドネシア	34.55	98.85	53.7	130.60
マレーシア	95.32	100.00	89.6	135.09
タイ	80.85	99.90	77.8	166.61
フィリピン	65.64	95.63	46.9	154.76
ベトナム	48.45	99.40	70.3	142.73
シンガポール	99.00	100.00	92.0	144.05
ミャンマー	33.11	68.36	23.6	113.84
カンボジア	31.92	93.00	78.8	129.92
ラオス	31.26	100.00	25.5	60.84
ブルネイ	99.00	100.00	95.0	120.40

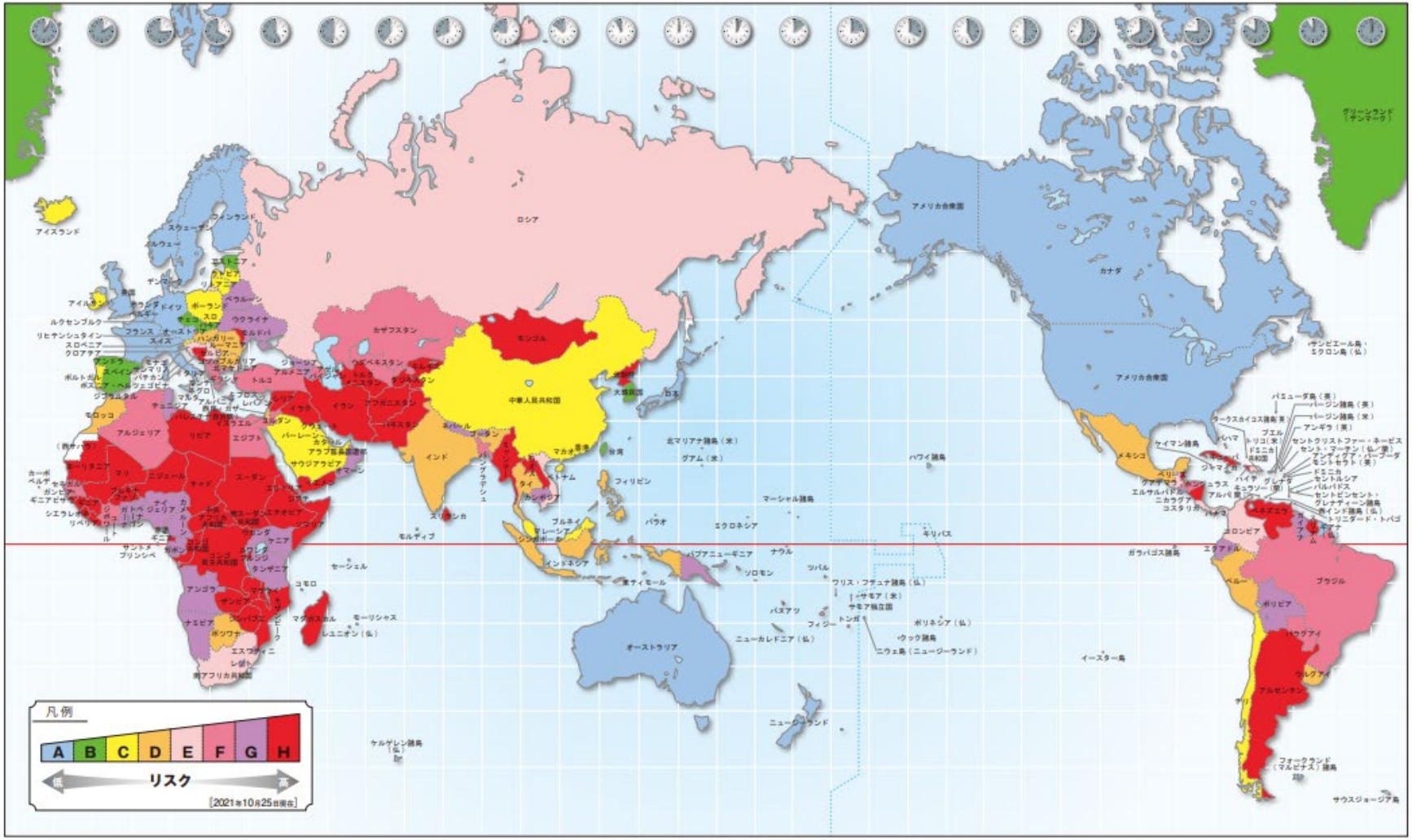
10.環境規制

国名	排水規制	排気規制	廃棄物規制
インドネシア	30項目に対して総量規制	9項目に対して排出規制	28の有害・有毒・危険物で特定
マレーシア	46項目に対して総量規制	18項目に対して排出規制	107のカテゴリーで特定
タイ	51項目に対して総量規制	15項目に対して排出規制	4種類のカテゴリーで特定
フィリピン	17項目に対して総量規制	13項目に対して排出規制	不明
ベトナム	36項目に対して総量規制	36項目に対して排出規制	6品目のリサイクル責任
シンガポール	36項目に対して総量規制	23項目に対して排出規制	26の有害カテゴリーで特定
ミャンマー	不明	不明	不明
カンボジア	不明	不明	不明
ラオス	不明	不明	不明
ブルネイ	不明	不明	不明

11.カントリーリスク

国名	自然災害死亡者数 人、2019年	武力紛争発生件数 2019年	PM2.5汚染人口比率 %、2017年	1人当たり水資源量 M3/年、2018年
インドネシア	444	9	95.57	7,542
マレーシア	2	0	100.00	18,396
タイ	26	27	100.00	6,317
フィリピン	178	130	96.37	4,491
ベトナム	56	0	100.00	9,253
シンガポール	0	0	100.00	104
ミャンマー	128	147	100.00	21,743
カンボジア	24	0	100.00	29,299
ラオス	16	0	100.00	47,228
ブルネイ	0	0	0.00	19,815

11.カントリーリスクーNEXIマップ



12.日本人生活環境-1/2

国名	駐在員用住宅借上料（月額USD）	タクシー料金（USD/3Km）
インドネシア	2,900～3,057@ジャカルタ	1.47@ジャカルタ
マレーシア	1,308@クアラルンプール	1.84@クアラルンプール
タイ	1,091～3,851@バンコク	1.64@バンコク
フィリピン	1,354@マニラ	1.21@マニラ
ベトナム	1,000～3,800@ハノイ	2.09@ハノイ
シンガポール	1,976～7,685	4.01
ミャンマー	1,980@ヤンゴン	1.79@ヤンゴン
カンボジア	600～6,500 @プノンペン	
ラオス	1,987@ビエンチャン	
ブルネイ		

12.日本人生活環境-2/2

国名	日本人学校	医療事情
インドネシア	ジャカルタ、スラバヤ、バンドン、チカラン	人口当たりの病床数は日本の1／13で都市部に集中
マレーシア	クアラルンプール、ジョホールバル、コタキナバル、ペナン	大きな私立病院は設備も十分で特に問題なく受診可能
タイ	バンコク、シラチャ	主要都市の公立基幹病院や代表的な私立病院は概ね良好
フィリピン	マニラ	首都圏では近代的な設備を整えた私立総合病院で最先端の医療も可能
ベトナム	ハノイ、ホーチミン	医療環境・水準とも日本や周辺アジア先進国と比べ劣る
シンガポール	シンガポール	問題なし
ミャンマー	ヤンゴン	設備、衛生、特に看護職などの人的な面でまだまだ非常に貧弱な医療事情
カンボジア	プノンペン	一般的な衛生事情や医療水準は日本に比べて劣悪
ラオス	なし	医療水準は近隣諸国と比べても極めて低い
ブルネイ	なし	入院施設のある総合病院は、国立と私立が一つずつあるのみ

最新のインドネシア情報はこちらから

インドネシア進出手順要点解説 http://www.hmkt.jp/

- インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイト

インドネシア最新情報ブログ http://blog.livedoor.jp/kojindonesia/

- あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介

インドネシアビジネスセミナー https://abji.hamazo.tv/c724863.html

- 四半期毎に開催される一般社団法人日本インドネシアビジネス協会の会員セミナー
- 非会員でもオンライン参加が可能
- 2021年度テーマ
  - 3月：インドネシア人材の受け入れ制度大解剖
  - 6月：インドネシアに進出して成功している企業の共通項
  - 9月：インドネシアと日本の新しい関係
  - 11月：インドネシアでのビジネス交渉術

インドネシア進出ハンドブック

- あらゆる進出形態での事業開始から撤退までのステップを詳細スケジュールと資料で解説
- 45年間のインドネシア事業で得た全ての知見を掲載
- 資料一式をhttp://www.hmkt.jp/handbookset.zipからダウンロード可

ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です